

授業科目 成人発声発語障害学 II

【担当教員名】 西尾 正輝		対象学年	3	対象学科	言語
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		◎	
【概要・一般目標：G10】 ディサースリア（Dysarthria、運動障害性構音障害）の評価技法について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 標準ディサースリア検査（AMSD）を適切に実施できる。 2. 検査結果を解釈し、治療プランを立案できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ディサースリアの評価の概説				講義 西尾
2	標準ディサースリア検査（AMSD）：一般的情報の収集の仕方				講義 西尾
3	標準ディサースリア検査（AMSD）：発話の検査技法1.				講義と演習 西尾
4	標準ディサースリア検査（AMSD）：発話の検査技法2.				講義と演習 西尾
5	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法1.				講義と演習 西尾
6	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法2.				講義と演習 西尾
7	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法3.				講義と演習 西尾
8	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法4.				講義と演習 西尾
9	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法5.				講義と演習 西尾
10	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法6.				講義と演習 西尾
11	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法7.				講義と演習 西尾
12	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法8.				講義と演習 西尾
13	検査結果の解釈の仕方				講義 西尾
14	国際生活機能分類（ICF）に基づいた問題点の立案の仕方				講義 西尾
15	まとめ				講義 西尾
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		標準ディサースリア検査	西尾正輝	インテルナ出版	2004・5,700円＋税
		標準ディサースリア検査評価用基準スピーチサンプル集	西尾正輝	インテルナ出版	2009・2,200円＋税
参考書		発話メカニズムの解剖と生理	新美成二(監訳)	インテルナ出版	1998・2,800円＋税
		ディサースリアの基礎と臨床 第2巻	西尾正輝	インテルナ出版	2006・4,000円
その他の資料					
【評価方法】 定期試験により成績を判定する。小テストを実施した場合は、評価内容として重視する。さらに、授業態度、出席日数等も評価にさいして勘案しうる。レポートを課した場合は、評価内容に含める。		【履修上の留意点】 検査結果を適切に解釈できるようになるために、発声発語器官の解剖と生理を習得しておくこと。また、聴覚的評価の演習と講義の復習を行うこと。			